

2014 年度東海地区協議会研究会運営委員会 第 4 回議事録

日 時 : 2014 年 11 月 10 日(月)14 時 00 分～16 時 30 分
場 所 : 椋山女学園大学 星が丘キャンパス 中央図書館
出席者 : 太田(名古屋芸術)、中村・小木曾・金子(愛知)、小林(愛知医科)、広田(中部)、
東槿(名古屋外国語)、木村(愛知学泉)、田中(金城学院)、天野(椋山女学園)、
石田(南山)、水谷(東海学園)、中田・坂東・山田(名古屋学院)
欠席 : 立野 (名古屋芸術) 敬称略

1. 実務担当者研修会事後課題および成果発表について

1) アンケート結果・反省点

中田委員長より参加者アンケートの集計結果(事前回覧済)について改めて報告があった。53 名中 47 名分を回収、概して良い評価であった。アンケート結果については各グループリーダーから担当講師宛に送付する。

その他、委員からの所感として、

- ・グループ間で進度の差があったのが気になった。
- ・「通い」ということもあり交流の時間も限られ、宿泊研修に比べて一体感に欠けていた。
- ・職場に持ち帰って実務に活かせるところまでは到達できていない。

など、全体的に時間が足りないことによる問題点が挙がった。

今回初めて 2 日間の通いで研修となり、アンケートではその点も好評であったが、参加しなかった(できなかった)人の意向は当然アンケートには含まれない上、上記のような課題もあるため、結果的に研修のスタイルとしてどちらがいいとは一概には言えないという意見も多く、引き続き検討事項として残された。

2) 各ワーキング事後課題の状況

グループごとに、事後課題の内容と進捗状況について報告を行った。

3) 東海地区 HP 公開項目・『館灯』掲載内容

- ①参加者用共有サイトに掲載した資料や成果物等について、HP に公開してもよいか各グループで講師および参加者に確認する。
- ②活動概要は前回までの形式を踏襲する。各グループワークの項目については、グループにおいて作成し、12 月 19 日(金)までに東槿委員に提出する。
- ③アンケート結果については、これまで研究会と研修会で扱いが異なっていたが、今後はどちらも直接 HP にアップするのではなく、『館灯』に掲載することで HP 上での閲覧を可能とする。

2. 第 2 回研究会について

中田委員長より、講演者と事例発表者に対する講師謝礼支払いについて説明と提案があり、これを了承した。続いて東槿委員より資料に基づき説明があった。参加者数は 37 大学 71 名で、当日の担当は別紙のとおりお願いしたいとのことであった。また、グッズセッションについての詳細を協議した。準備の都合から参加確認を取ることで、当日持参予定で

あった掲示用紙を、事前に提出してもらうようメールで案内することとした。また、アンケートにグッズセッションについての項目を追加することになった。

3. 館灯について

東槇委員より資料に基づき掲載事項とスケジュールの説明があった。

現在各館に加盟館名簿の確認中だが、問い合わせがあったこともあり、これまで全く記載がなかったいつ時点の情報にするか決めた方がよいということになり検討した結果、国公私の名簿に合わせて毎年12月1日現在で作成することとした。この件については、申し合わせ事項の中に含めることと併せて、常任幹事会に諮ることとした。

また、役員校一覧については総会資料をそのまま掲載したいが、一部変更があるため、委員長が理事校と相談、常任幹事会を経て決定する。

4. ウェブサイトについて

石田委員より、前回以降の実施事項について報告があった。

また、旧サイトの閉鎖に伴い、年間行事予定のバックアップデータを現サイトに移行する作業については、11月28日(金)の第2回研究会終了後に実施する。同時に、会議資料の掲載については、2011年までは日付の降順、2012年からは昇順となっており、この機会にすべて昇順に変更したいとの提案があり、これを了承した。

5. その他

中田委員長より、愛知工業大学中井研究室が行う2014年度の図書館利用調査の結果について、2015年度の研究会で発表してはどうかとの提案があった。

その他、来年度の見学会訪問先の候補について意見を出し合った。

上記2点については、2015年度への引き継ぎ事項とする。

以上

記録者：山田